

## 慢性心疾患と、小慢事業のICD10コード

研究協力者 石澤 瞭 国立小児病院循環器科医長  
分担研究者 加藤忠明 日本子ども家庭総合研究所小児保健担当部長  
主任研究者 柳澤正義 東京大学医学部小児科教授

研究要旨: 「慢性心疾患」に関する小児慢性特定疾患治療研究事業の登録・管理・評価をより正確に実施することを目的として、対比表「慢性心疾患と、小慢事業のICD10コード」を作成した。より正確に登録するためには、対比表に基づくコードでの登録・管理が望まれる。

見出し語: 小児慢性特定疾患、慢性心疾患、登録管理、ICD10コード

### A、研究目的

小慢事業の慢性心疾患とICD10コードとは昨年度、対応させた<sup>1,2)</sup>。しかし、これはコンピュータ入力上の便宜と、WHOの国際分類に準じるために作成したものであり、必ずしも日本国内での小児の罹患頻度等を考慮した専門医の分類とは言い難い。そこで国内での小慢事業の登録・管理・評価をより正確に実施することを目的として対比表を作成した。

### B、研究方法

Heart Disease in Infants, Children, and Adolescents<sup>3)</sup>と、小児慢性特定疾患早見表<sup>1)</sup>、またICD10<sup>4)</sup>等との整合性を考慮しながら、最近使用されている疾患名、細分類した疾患名等を追加し、表「慢性心疾患と、小慢事業のICD10コード」を作成した。

### C、結果と考察

表中の( )内のICD10コードは、早見表の前半部分に掲載されていない疾患名であるが、それを包含した別の疾患名は小慢対象となっている。したがって、当然、小慢対象疾患であり、正確に登録するためには、そのコードでの登録・管理が望まれる。

### 文献

1) 厚生省児童家庭局母子保健課監修: 小児慢性特定疾患早見表、平成10年度版。社会保険研究所、1998。

2) 加藤忠明、柳澤正義他: 小児慢性特定疾患名とICD10コード。厚生省心身障害研究「小児慢性特定疾患治療研究事業の登録管理システムに関する研究」報告書: 2~26、1998。

3) Moss and Adams: Heart Disease in Infants, Children, and Adolescents 5th ed. edited by GC Emmanouilides et al. 1995. Williams & Wilkins。

4) World Health Organization: ICD10, vol. 1。1992。

## 表、慢性心疾患と、小慢事業のICD10コード

### 1、心筋症 I42.9

肥大型心筋症(HCM) I42.2

特発性拘束型心筋症 I42.5

不整脈原性右室心筋症 I42.9A

心尖部肥大型心筋症 I42.9B

ミトコンドリア心筋症 I42.9C

心型Fabry病 I42.9D

心アミロイドーシス I42.9E

特発性肥大型閉塞性心筋症 (I42.1)

拡張相肥大型心筋症 (I42.9F)

特発性拡張型心筋症 (I42.0)

## 2、調律異常

- 房室ブロック I 44.3
  - 第 度房室ブロック I 44.0
  - 第 度房室ブロック I 44.1
    - Mobitz 型ブロック、  
Wenckebach型ブロック I 44.1A
    - Mobitz 型ブロック I 44.1B
  - 完全房室ブロック I 44.2
  - 高度房室ブロック ( I 44.2A )
- 脚ブロック I 45.4
  - 左脚ブロック、完全左脚ブロック  
I 44.7
  - 右脚ブロック、完全右脚ブロック  
I 45.1
- 洞房ブロック I 45.5
- 早期興奮症候群 I 45.6
  - W P W症候群 I 45.6A
  - Lown-Ganong-Levine(LGL)症候群  
I 45.6B
- 完全心ブロック、心室内伝導障害  
I 45.9
  - Jervell-Lange-Nielsen症候群  
I 45.9A
  - ロマノ・ワルド(Romano-Ward)症候群  
I 45.9B
  - Adams-Stokes発作 I 45.9C
  - Q T 延長症候群 I 45.9D
- 期外収縮 - - - 一般的には対象外
  - 心房性期外収縮 I 49.1
  - 心室性期外収縮 I 49.3
  - 上室性期外収縮、房室性期外収縮  
I 49.4
- 上室性頻拍、心房性頻拍 I 47.1
  - 発作性上室性頻拍、発作性心房性頻拍  
I 47.1A
  - 非発作性上室性頻拍、  
非発作性心房性頻拍 I 47.1B
  - 多源性心房性頻拍 ( I 47.1C )
  - 房室結節性異所性頻拍 ( I 47.1D )
- 心室性頻拍 I 47.2
  - 発作性心室性頻拍 I 47.2A
  - 非発作性心室性頻拍 I 47.2B
  - 固有心室性調律(AIVR) I 47.2C
- 心房細動、心房粗動 I 48
- 心室粗細動 I 49.0
- 洞不全症候群 I 49.5

房室解離 I 45.8

ペースメーカー調律 ( I 49.9 )

## 3、先天性心疾患等

- 心房中隔欠損 ( 症 )、  
心房中隔二次口欠損 ( 症 ) Q 21.1
  - Lutembacher症候群 Q 21.1A
- 心内膜床欠損 Q 21.2
  - 不完全型心内膜床欠損 ( 症 )、  
心房中隔一次口欠損 ( 症 ) Q 21.2A
  - 完全型心内膜床欠損 ( 症 )、  
共通房室弁口症 ( 症 ) Q 21.2B
- 単心房 Q 20.8
- 心室中隔欠損 ( 症 ) Q 21.0
- 単心室 Q 20.4
  - double inlet right ventricle  
Q 20.4A
  - double inlet left ventricle  
Q 20.4B
- 左室右房交通症、左室右房ろう  
Q 21.0A
- 動脈管開存 ( 症 ) Q 25.0
- 大動脈肺動脈中隔欠損 ( 症 )、  
大動脈中隔欠損 ( 症 ) Q 21.4
- 冠動脈異常、冠動脈奇形 Q 24.5
  - 左冠動脈肺動脈起始 ( 症 )、  
Bland-White-Garland症候群 Q 24.5A
  - 右冠動脈肺動脈起始 ( 症 ) Q 24.5B
  - 両冠動脈肺動脈起始 ( 症 ) Q 24.5C
  - 冠動静脈ろう、先天性冠動静脈ろう  
Q 24.5D
  - 冠動脈ろう Q 24.5E
  - 冠動脈拡張 ( 症 ) Q 24.5F
  - 冠動脈狭窄 ( 症 ) Q 24.5G
- 大動脈奇形、大動脈弓奇形
  - 右側大動脈弓、右大動脈弓 Q 25.4A
  - 下大動脈欠損 Q 25.4B
  - 血管輪 Q 25.4C
  - 大動脈憩室 Q 25.4D
  - 大動脈瘤 Q 25.4E
  - 重複大動脈弓 ( 症 ) Q 25.4F
  - 右鎖骨下動脈起始異常 ( 症 ) Q 25.4G
  - ヴァルサルヴァ(Valsalva)洞動脈瘤  
( 破裂 ) Q 25.4H
  - 大動脈・左室トンネル ( Q 25.4I )
  - 左肺動脈右肺動脈起始 ( Q 25.4J )
- 肺静脈還流異常 ( 症 ) Q 26.4

部分的肺静脈還流異常(症) Q26.3C  
シミター症候群、  
Scimitar syndrome Q26.8C  
総肺静脈還流異常(症) Q26.2  
三心房心 Q24.2  
三尖弁閉鎖(症) Q22.4  
三尖弁狭窄(症) (Q22.4B)  
エプスタイン奇形、Ebstein's anomaly  
Q22.5  
肺動脈弁閉鎖(症)、  
純型肺動脈弁閉鎖(症) Q22.0  
肺動脈弁閉鎖不全(症) Q22.2  
肺動脈狭窄(症)、  
肺動脈弁上狭窄(症) Q25.6  
肺動脈弁下狭窄(症) Q24.3  
肺動脈弁狭窄(症) I37.0  
肺動脈弁異形成 Q22.3  
先天性肺動脈弁欠損(症)(Q22.3A)  
肺動脈形成不全(一側肺動脈欠損、  
片側肺動脈欠損、一側肺動脈上行大動脈  
起始、右肺動脈上行大動脈起始、  
左肺動脈起始異常、肺動静脈ろう、先天  
性肺動静脈ろう、特発性肺動脈拡張症、  
肺動脈起始異常) Q25.7  
ファロー四徴(症) Q21.3  
右室二腔症 Q21.0B  
Uhl奇形 Q24.8A  
左室憩室 Q24.8B  
右心室低形成(症) Q22.6  
右胸心 Q24.0  
総動脈幹遺残(症) Q20.0  
僧帽弁閉鎖(症) Q23.2  
僧帽弁狭窄(症) I05.0  
僧帽弁上狭窄(症) (I05.0A)  
僧帽弁閉鎖不全(症) I34.0  
僧帽弁逸脱症候群(MVP) I34.1  
(先天性)大動脈狭窄(症) Q23.0  
大動脈弁狭窄(症) Q23.0A  
大動脈弁下狭窄(症) Q23.0B  
大動脈弁上狭窄(症)、  
ウィリアムズ症候群 Q23.0C  
大動脈弁閉鎖不全(症) Q23.1  
大動脈弁逸脱(AVP) Q23.1A  
大動脈二尖弁、二尖弁大動脈弁  
Q23.1B  
左心症 Q24.1  
左心低形成症候群(HLHS) Q23.4

大動脈閉鎖(症)、  
大動脈弁閉鎖(症) Q23.4A  
大動脈弁下部狭窄(症) Q24.4  
大動脈縮窄(症)、  
大動脈縮窄(複合)症候群 Q25.1  
大動脈弓離断(複合)症候群、  
大動脈弓閉鎖 Q25.3  
下大静脈欠損 Q26.8A  
下大静脈左房交通(症) Q26.8B  
アイゼンメンジャー症候群、  
Eisenmenger症候群 Q21.8  
完全大血管転位(症) Q20.3  
修正大血管転位(症) Q20.5  
両大血管右室起始(症) Q20.1  
Taussig-Bing heart(奇形) Q20.1A  
両大血管左室起始(症) Q20.2

#### 4、その他

無脾症(症候群) Q89.0  
多脾症候群 Q89.0A  
小児原発性肺高血圧症 I27.0  
(体)動静脈ろう(心不全を伴うものに限  
る) Q27.3  
体静脈異常還流症 Q27.8A  
胎児循環遺残症(PFC) Q27.8B  
心臓腫瘍(粘液腫、横紋筋腫、脂肪腫、  
線維腫) D48.7  
心膜嚢(胞)腫 Q24.8D  
収縮性心外膜炎 I31.1  
慢性緊縮性心膜炎 I31.8  
慢性心膜炎 I31.9  
慢性心内膜炎 I38  
慢性心筋炎 I51.4  
心臓逸脱症 Q24.8C  
先天性心膜欠損症 Q24.8E  
遺伝性出血性末梢血管拡張症、Osler病  
I78.0  
慢性心不全 I50.9  
川崎病、MCLS M30.3  
狭心症 I20.9  
心筋梗塞 I21.9  
冠動脈瘤 I25.4

注): ( )内のICD10コードは、小児慢性  
特定疾患早見表の前半部分に掲載されてい  
ないが、小慢対象疾患であり、このコードでの登録  
・管理が望まれる。